同時発表：
筑波研究学園都市記者会（資料配布）
文部科学記者会（資料配付）
科学記者会（資料配付）

平成18年度日米ナノテクノロジー若手研究者交流プログラム
参加者募集について

平成１８年１０月２４日

文部科学省 ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター

独立行政法人物質・材料研究機構

この度、我が国のナノテクノロジー分野の若手研究者を米国に派遣するため、参加者を募集いたします。本交流プログラムは、日米科学技術協力協定に基づいたナノテクノロジー分野での文部科学省と米国科学財団（ＮＳＦ）との協力の一環として、助教授、助手、および博士研究員クラスの若手研究者を相互に派遣し、相手国の先端研究機関を訪問することで日米研究者間の研究交流を深め、ナノテクノロジー分野における国際的な人材を育成しネットワークを構築することを目的としています。

本交流プログラムは、日米両国の若手研究者それぞれ 10 名程度と引率者（教授 2 名程度）が相互に相手国を訪問しワークショップを開催すると共に、その国の主だったナノテクノロジー関連研究施設を訪問して意見交換を行います。このような交流を通して国際的な研究者ネットワークを形成すると共に、国際的なリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指します。

記

対　象　者：日本の大学および各種研究機関（民間企業を含む）に職を有する概ね40歳未満の助教授、助手、講師および博士研究員クラスの若手研究者であって、以下の研究分野に関し、米国研究機関との共同研究を新たに開始することに意欲を有し、我が国のナノテクノロジーの発展に寄与する意思のある者

対象研究分野：Three Dimensional Measurements and Visualization at Nanoscale, and those related fields.

関連技術分野：Superprecision metrology, Nanoscale metrology, Precision technology,

Sensing technology, Nano/Micro fabrication, MEMS,
Nano imprinting, Precision standard, Nanoscale standard,
Scanning Probe Microscopy and others.

採用予定数：10名程度

日本側引率者：高　　偉　助教授（東北大学大学院工学研究科）
高谷　裕浩　教授（大阪大学大学院工学研究科）

日　　程：日本若手研究者訪米　平成19年3月6日（出発）～3月18日（帰国）
米国若手研究者訪日　未定（平成１９年９月下旬から１０日程度）

訪問先(予定)：University of North Carolina at Charlotte(Center for Precision Metrology), National Institutes of Standards and Technology, Harvard University, MIT,
Northeastern University (Center for High Rate Nano manufacturing),
UCLA (Center for Scalable and Integrated Nano manufacturing).

公 募 期 間：平成18年10月25日（水）～12月8日（金）

募 集 要 項：http://www.nanonet.go.jp　参照

（問い合わせ先）

〒105-0001　東京都港区虎ノ門3-2-2虎ノ門30森ビル2F
文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター
人材育成グループ長　岡村　茂　　電話　03-5404-3286

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト

平成１８年度日米ナノテクノロジー若手研究者交流プログラム参加者募集要項

平成１８年１０月２５日

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター

１．本交流プログラムの趣旨

本交流プログラムは、日米科学技術協力協定に基づいたナノテクノロジー分野での文部科学省と米国科学財団（NSF）との協力の一環として、助教授、講師、助手、および博士研究員クラスの若手研究者を相互に派遣し、相手国の先端研究機関を訪問することで日米研究者間の研究交流を深め、ナノテクノロジー研究分野における国際的な人材とネットワークを育成することを目的としています。

本交流プログラムは、日米両国のナノテクノロジー分野の若手研究者１０名程度と引率者（教授２名程度）が相互に相手国を訪問しワークショップを開催すると共に、その国の主だったナノテクノロジー関連研究施設を訪問して意見交換を行い若手研究者間の研究交流を深めることで、国際的な研究者ネットワークを形成すると共に、国際的なリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指すものです。

２．募集対象研究分野：Three Dimensional Measurements and Visualization at Nanoscale, and those related fields.

関連技術分野：Ultraprecision metrology, Nano scale metrology,
Precision technology, Sensing technology,
Micro/Nano fabrication, MEMS, Nano imprinting,
Precision standard, Nano scale standard,
Scanning Probe Microscopy and others.

３．交流事業概要

（１） 日本側参加者：清野　慧　教授（東北大学大学院工学研究科）

引率者　高　　偉　助教授（東北大学大学院工学研究科）

高谷　裕浩　教授（大阪大学大学院工学研究科）

若手研究者　：10名程度（公募後、審査による選別）

米国側参加者：引率者　Prof. Robert J. Hocken

(University of North Carolina at Charlotte)

若手研究者　１０名程度（予定）

（２）日本側訪米日程：平成１９年　３月６日（火）～３月１８日（日）

米国側訪日日程：平成１９年　９月下旬を予定

（３）訪問先(予定)：University of North Carolina at Charlotte (Center for Precision Metrology), National Institutes of Standards and Technology, Harvard University (Science for Nanoscale Systems and their Device Applications), MIT, Northeastern University (Center for High Rate Nano manufacturing), UCLA (Center for Scalable and Integrated Nano manufacturing).

（４）交流内容

・日本側の訪米時；University of North Carolina at Charlotte にて日米合同ワークショップを開催後、上記研究機関を訪問し、施設見学と技術討論を行う予定

・米国側の訪日時；日米参加者全員による合同ワークショップの開催および、米国側研究者の研究室訪問の対応

（５）その他

・訪問先研究室については参加者の希望を考慮します。

４．応募資格

本プログラムの申し込み対象者は下記の項目に該当する者とする。

（１）大学および各種研究機関（民間企業を含む）に職を有する概ね４０歳未満の助教授、講師、助手、および博士研究員クラスの若手研究者（ただし、派遣期間

中に退職する予定の者は除く）

（２）訪問先および参加者との共同研究を新たに開始することに意欲を有し、我が国のナノテクノロジーの発展に寄与する意思のある者

（３）日本側訪米日程である平成１８年３月６日（出発）～３月１８日（帰国）の全日程に参加できる者

（４）米国側訪日時の研究機関訪問やワークショップ開催等の活動に協力する意欲のある者

５．経費負担

（１）米国往復航空運賃、米国内移動費、滞在費および本訪米に係る日本国内交通費、日当を当センターの規定にそって支給する。

（２）米国側の訪日時に行われる総括ワークショップ参加に係る国内交通費、日当、宿泊費を当センターの規定にそって支給する。

６．申請書の提出

（１）当センターのホームページ（ http://www.nanonet.go.jp ）より申請書（様式１、２、３）をダウンロードし、必要事項を記入して押印した原本１部（左肩ホチキス留め）と、当該申請書

をフロッピーディスク、CD-R 等に記録したものを下記提出先に郵送のこと。

（２）提出先

〒105-0001東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル2F

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター

人材育成グループ長　　岡村　茂　宛

（３）申請書は返却しない。ただし、本申請書は本プログラム参加者の選考および、本プログラム実施に係る連絡の目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

７．申請受付期間

平成１８年１０月２５日（水）～１２月８日（金）（必着）

８．選考および結果の通知

提出された申請書に基づき、日米ナノテクノロジー若手研究者交流プログラム選考委員会において選考を行い、選考結果は平成１８年１２月下旬に申請者に文書をもって通知する。

９．その他

（１）当機構は、派遣期間中に生じた傷害、疾病等の事故については責任を負いません。派遣期間中の海外旅行傷害保険等の加入については申請者の責任で行ってください。

（２）採用者は、本プログラム終了後、別に定める様式によって報告書（Ａ４・２枚程度）を提出すること。なお、報告書は後日刊行物として公表することがあります。

（３）採用者の氏名および所属を必要に応じて公表することがあります。

（４）なお、本プログラムは、日米の共同研究に発展する研究者ネットワークを形成するためのものであり、その後の共同研究費用の拠出を予定しているものではありません。

１０．問い合わせ先

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター

人材育成グループ長　　岡村　茂

電 話：03-5404-3280

E-mail: OKAMURA.Shigeru@nims.go.jp

以上